

令和8年度 第2回社会教育委員会 会議録

開催日時	令和8年6月19日 金曜日 13時30分から14時40分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム2
出席者	和田智司教育長、久保田秀実委員長、 関口金由紀副委員長、石井文委員、三宅栄子委員
欠席者	石黒賢路委員、市川葉子委員、稲葉通隆委員、宮入秀紀委員
事務局	松本教育部長、武井生涯学習課長、二見生涯学習班長、 北川スポーツ推進班長、込山図書館班長
その他	傍聴者0名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 生涯学習課事業報告について

(委員長)

スポーツ推進委員・地域学校協働活動推進員・青少年指導員が改選され、新しい顔ぶれになったと思う。特にスポーツ推進委員と青少年指導員については、選出の方法が地区推薦から公募へと変わったが委嘱式の際に何か要望等はあったか。

(事務局)

スポーツ推進委員からは、ニュースポーツは道具を用意しないと取り組めず、町民が気軽にできないという意見があり、今後の事業展開の課題として話があった。

地域学校協働活動推進員はここ4年同じ方に務めていただいている。意見としてはもっと学校間で事業連携をしたいという意見が出ている。しかし、各学校により学校運営協議会のかかわり方等、運営の方法が異なることもあり、なかなか実現していない。

青少年指導員については、ラディアンが休館することで今まで行っていた“Vamos” Liveが開催できなくなることから、代わりとして子どもたちに何ができるかというアイデア出しをメインに行っており、今のところ要望等はいただいている。

(委員)

山西プールについて、令和6年度は開設期間を長くしていたと記憶しているが、今年度は行わないのか。

(事務局)

開設期間は条例で7月から8月までの2か月間と定められており、令和6年度については学校の水泳授業の関係で試行的に期間を長くした。しかし、小学校の水泳授業が昨年度より民間のスイミングスクールで行うことになったこともあり、今年度は行っていない。

(委員)

条例に定められているということは、簡単に開設期間を変えられないと思うが、夏の暑い時期も長くなっていると感じている。一般利用者から期間延長を希望する声はないか。

(事務局)

山西プールの大規模改修工事に向け、令和7年度に町民1,000人を対象にアンケートを実施した。その中で、期間延長を要望する意見もあったが、割合としては少数だった。

(委員長)

6月28日(日)に一色小学校で休日の放課後子ども教室が開催されるが、今年度は二宮小学校と山西小学校では開催しないのか。

(事務局)

両校については今年度開催の希望がなかったため、一色小学校のみでの開催となる。

(2) 令和8年度 二宮町社会教育事業計画について

(副委員長)

幼児スポーツチャレンジの会場はどこで行うのか。

(事務局)

年2回の開催となり、町立体育館で行う。

(委員)

町立体育館よりも二宮小学校の体育館の方が、参加者が集まりやすいと思うがどうか。

(事務局)

会場の広さに加えて駐車場の台数という課題もあり、学校の体育館よりも町立体育館の方が事業運営しやすい。しかし、駐車場の課題が解決できるのであれば、ニュースポーツ体験会のように各学校に出向いていくことは可能だと思う。

(委員)

放課後子ども教室はとても意義のある事業だと思っている。子どもの数自体も友達と遊ぶ機会も減っており、遊ぶといっても動画視聴やゲームをして過ごすことが多いようだ。その点、この事業は学校から家に帰らずに体育館等で遊べることから、安全であるし、実際に体を動かし、友達と触れ合う貴重な機会と思う。この事業が始まった時は、各校年3回程度の実施だったのが、今では年12回程度にまで増えていることは喜ばしい。だが、もう少し回数を増やしてほしいという思いがある。そのためには、サポーターの確保や学校に荷物を預かってもらう等、事務局の負担軽減の工夫ができれば良いと思う。

特に二宮小学校と山西小学校は、人数の多さから偶数学年と奇数学年とに分けて開催しており、両校に通う子どもたちは開催回数の半分程しか参加できない状況になっている。年何回か全学年で実施して子どもが参加できる回数を増やしたり、実際の開催回数が増えれば良い。

(委員長)

大人が楽しむおはなし会についてだが、定員を超える申し込みがあったと思う。自分も事業を担当して行っていたが、定員を超える申し込みを得るのは難しいと感じている。広報が充実してきたというのもあるだろうし、事業内容そのものの魅力もあると思う。引き続き工夫をしながら事業を進めてもらいたい。

(3) その他

・ラディアン休館に関するアンケートについて（事務局より）

(副委員長)

アンケートはどこに設置するのか。

(事務局)

ラディアン南側の自動ドア付近にあるラウンジに、来館者の目に触れるように複数箇所設置する。

(委員)

アンケートの対象は来館者のみか。また、代替場所についてはどういった所を考えているか。

(事務局)

ラディアン休館中の代替場所についてのアンケートのため、対象者は来館者のみとなる。代替場所についてはまだ決定していないが、町が用意できるのが公共施設のため、どうしても限られた施設の中で検討することにはなる。

(副委員長)

代替場所が決定した場合はどのようにPRしていくのか。

(事務局)

まずは現在居場所となっているラウンジ等館内に掲示する。その他の周知方法としてはホームページ等を考えている。

(委員)

二宮中学校運営協議会でも居場所の在り方については考えている。毎年、夏休み期間中に学習相談を行っており、今年度は前半は中学校、後半はラディアンや地区集会施設等、校外で行うことも考えている。しかし、マンパワーが足りておらず、現在保護者にボランティアを呼び掛けているところである。

この検討が始まった経緯としては、毎年学習相談をしていると、前半は参加しているが、後半になると来なくなる生徒が多い。理由を尋ねたところ「学校が遠く、外が暑すぎて歩いて学校に来れない」という回答であった。そのため、家から自転車でこれる場所で学習相談ができるように考えようとなった。

人を配置するのは大変かと思うが、ラディアンの代替場所の運営については、どういった体制で行う予定か。

(事務局)

人の配置という課題があるが、場所だけを用意して無人で運営することはできないと考えている。

町で代替場所を設置するとなると、どうしてもきっちりとした体制が必要になるが、地区の方で施設を開放するというのであれば、少し緩和した形でもできるかもしれない。

(委員)

地区の中には施設を貸してくださるところもあるが、見守りの人員という点は課題になってくる。見守りまで地区にお願いするのは難しいと考えており、保護者の方が友人同士でおしゃべりしながらでも、その役割を担っていただけると良いと考えている。

(事務局)

中学生ではないが、未就学児童の保護者が何人かでグループを作り、防災コミュニティセンターを借りて子どもたちを遊ばせるという取り組みをしているところもあると聞いている。

未就学児童と中学生とでは状況も考え方も違ってくるが、こうした取り組みが広がると良い

(委員長)

話の本筋とはずれるが、こうした取り組みを考えるにあたり、地域にある施設の状況はどうか。

(事務局)

地区会館は地区が管理している。運用状況は各地区によって異なるが、地区活動での使用がメインになっている。防災コミュニティセンターは町管理であるが、今後はラディアン休館により、ラディアンで活動していた団体が使用する可能性がある。

(委員長)

先ほど放課後子ども教室の回数増加要望があり、そうした場合、学校や事務局の負担の増加が考えられる。こういった地域の施設が受け皿になれると良い。20年程前の話だが、ある地区では保護者が3人程で子どもの居場所を作っていた。

放課後子ども教室から学校を切り離してはいけないと思うが、一部を地域に担っていただくことも考えていかないと、頭打ちになってしまうと考えている。もし事業を拡大していくのであれば、教育委員会の方針として打ち出して良い部分かと思う。

こうしたところから、中学校で行っている学習相談の受け皿にも広がってい

くと良い。自分は平塚に住んでいるが、自分が住んでいる地域よりも二宮の方がよっぽど資源があると思う。

(委員)

大規模改修による休館は仕方のないことだと思うが、施設がなくなるから行政サービスが低下するということは避けてもらいたい。図書館であれば出張図書館等、できることはあると思うので、お互い意見を出し合って工夫していけると良い。

(副委員長)

令和8年度予算で袖ケ浦プール周辺環境整備という項目があったが、これは袖ケ浦プールが再開に向けて動くということか。

(事務局)

袖ケ浦プールは産業振興課の所管であるため、把握していることのお伝えになってしまうが、今回の予算は開設準備ではない。プールが休止となつてから、通常の維持管理は行ってきたが、近隣の状況が変わり、住宅が増えてきたことで、植栽の伐採等を行う必要が出てきた。今回の予算はそのためのものである。

・神奈川県社会教育委員連絡協議会総会報告（委員長より）

(委員長)

社教連にはいろいろな役割があり、県内市町村の委員が輪番で請け負っている。二宮町の順番が近いものとしては、令和10年度に県社教連が発行している会報誌の執筆ローテーションが回ってくるので、ご承知いただきたい。

4. 閉 会